

2000年

論文

* 学術雑誌 (共者)

パルスフィールドゲル電気泳動による病原細菌の分子型別の標準化に関する研究；水口康雄、小岩井健司：科学的根拠および情報を提供する地方衛生研究所の試験検査の強化に関する報告書, 80-92, 132-133.

結核菌の臨床分離株を用いた RFLP 分析に関する研究；水口康雄、岸田一則：薬剤耐性結核のサーベイランス、耐性の分子機構および多剤耐性結核の治療に関する研究、平成 12 年度総括・分担研究報告書, 21-29.

横浜の雑居ビルで捕獲したイエネズミの *Salmonella* 保菌状況；丸山総一、光眞明子、中川かほる、壁谷英則、横山栄二、勝部泰次(2000)：獣医疫学雑誌, 4,27.

* 情報誌等

食品微生物検査のサンプリング；内村眞佐子：臨床検査, 44,554-556.

急激な経過を示した *Vibrio vulnificus* 感染症の一例；佐藤正一、三上昌章、菊池広子、金子恵、鈴木幸子、東條美由紀、小笠原英樹、丸孝夫、高橋良誌、荒木雅彦、横山栄二、小岩井健司(2000)：病原微生物検出情報, 21,242-243.

学会発表

清涼飲料水から分離した耐熱性カビの形態と性状について；高橋治雄：第 38 回千葉県公衆衛生学会

パラチフスの流行・集団発生事例の分子疫学的解析；依田清江、小岩井健司、水口康雄：第 73 回日本細菌学会

Morphological characterization and molecular typification based on mitochondrial cytochrome b gene analysis in G aflatoxin-producing fungi；H.Takahashi, L.Wang, K.Yokoyama, N.Kase, H.Yazaki, M.Ichinoe and K.Nishimura：マイコトキシン研究会 第 49 回学術講演会

パルスネット構築について；小岩井健司、水口康雄：衛生微生物技術協議会第 21 回研究会

食品から TDH 陽性株が分離された腸炎ビブリオ食中毒について；横山栄二：平成 12 年度獣医公衆衛生学会（関東大会）

千葉県で発生した劇症型 A 群レンサ球菌感染症由来株の分子疫学的解析；小岩井健司、水口康雄：第 49 回日本感染症学会東日本地方会

イランにおけるピスタチオナッツの生産状況；高橋治雄：マイコトキシン研究会第 50 回学術講演会シンポジウム

千葉県で発生した劇症型 A 群レンサ球菌感染症について；小岩井健司：第 13 回地研全国協議会関東申信静支部細菌研究部会

保存炭疽菌株の病原因子保有状況；横山栄二、岸田一則：平成 12 年度千葉県獣医学会

ナリジクス酸耐性 *Shigella sonnei* の増加とその耐性機構；内村眞佐子、岸田一則、小岩井健司：第 75 回日本感染症学会総会